



発 行

ムーディー・インターナショナル・ サーティフィケーション株式会社 大阪事務所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル13F Tel:06-6150-0571 Fax:06-6150-0575

新年ご挨拶

代表取締役 坂井 喜好

皆様、明けましておめでとうございます



「感謝」 坂井 喜好 書

皆々様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に本 年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

目まぐるしく変わる事業環境、今日の常識は明日の 非常識、変化することを事業の最優先事項にして、結 論を出す前に行動しなければ生き残れないくらいの超 激流の世の中、我々はどうやって生き抜くのかを試され ています。

私どもは、「感謝」の気持ちを常に忘れることなく、相互 依存の心構えを肝に銘じ、お客様の事業が更に発展成 功なさいます様、継続的改善を促す触媒となって、変化 する事業環境に適応した価値ある審査を目指し、社員一

丸、一層の努力を 重ねて参る所存で ございます。

どうか変わらぬ お引き立ての程、 何卒よろしくお願い 申し上げます。



サウジアラビア王国第75回建国記念日を祝うレセプションパーティーにて(右)

CONTENTS

- 1 新年のご挨拶
- 2 特集 3 「規格紹介」
- 4 MICニュース
 - ●世界のISO認証件数発表
 - ●世界初のMSCカツオ漁業認証開始
 - ●MICフランスRATPと成約
 - ●Q&A

■ 審査の現場から

- お客様紹介(富山市上下水道局 流杉浄水場)
- ●連載よみもの「審査員の心理」

6 連載よみもの

- ●MICリレーエッセイ 「近代国家の夜明け」(審査員 小宮幸夫)
- ●環境よみもの「環境とISO14001」

7 お客様からのお便り

- ●株式会社旭製菓
- ●株式会社廣貫堂

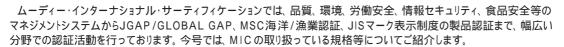
8 研修コースのご案内

- ●ちょっといっぷく
- ●コースのご紹介/受講生からのお便り

100DY NTEhttp://www.moodygroup.co.jp/RTIFICATION



規格紹介





• MICの審査方針

"Drive Your System and System Generates Action" - システムとはドライブするものであり、そして行動を出力するもの

事業を行っていれば必ず失敗などの問題が発生します。ISOはそれらを蒸気の如くエネルギーとしてタービンを駆動させ、シャフトでつながった発動機を回し、電気の如く改善を出力する発電所のようなものと考えています。ドライブしなければ錆びが生じたり、故障の原因にもなります。問題なく駆動しているのかどうかの確認が維持審査であり、私どもはそのお手伝いをさせて頂いております。「現場にしか答えはない」との考えから現場主義に基づいた審査、そしてお客様のシステム改善につながる審査を基本に、問題をいかにして抽出し是正処置のサイクルに乗せ、将来の成功に繋げておられるのか、生き残るために役立てておられるのかということに重点を置き、常にお客様のマネジメントシステムの品質を高め、変化を起こすような鼓舞する審査を目指しています。

効果ある審査で企業価値向上に貢献

問題や不適合を見出すことが本来の私どもの仕事ではありません。適合性本位の審査ではなく、あくまでも効果に関心を持ち、要 求事項の本質をとらえた審査を基本とし、さらにお客様にとって利益につながる改善の余地はどこにあるのか、経営の上昇気流(ダ イナミズム)をもたらす要素がどこにあるのかに焦点をあてた高付加価値審査を心がけています。

常にお客様の立場を考えた審査

お客様の事業目的やニーズ、また業務規模や業務内容等に配慮し、お客様のシステムの成熟度に合わせた審査を心がけ、お客様の目的が達成しうるマネジメントシステムの確立に貢献するサービスを提供しています。創立以来、国際基準を信条にした費用設定にて、常にお客様の立場で考え、料金を最大限に抑えるのが私どものモットーです。

幅広いマネジメントシステム規格、産業分野に対応

MICでは農業から宇宙までをカバーする世界最大級のISO認証機関として、あらゆる産業分野にわたって幅広い認証サービスを提供し、常に新しい審査登録分野の開発にも取り組んでおります。新たなシステムの導入、認証業務の拡張などをご検討の際にはMICまでご相談ください。

1509001 品質マネジメントシステム

1987年に制定された品質管理システムの国際規格。顧客満足を向上させるための方針・目標を定め、その目標達成のために継続的に改善活動を行っていくための仕組みのことで、世界で100万以上の認証実績となっています。

最新版は、昨年11月に発行された追補改訂版ISO9001:2008で、2年間の移行期間後2000年版は無効になります。移行に関する手続きについては同封の案内(別紙)をご覧ください。

ISO14001 環境マネジメントシステム

1996年に制定され、2004年に改訂された環境管理システムの国際規格。組織の活動、製品及びサービスを通して環境へ及ぼす影響(環境負荷)を低減していくための仕組みのことです。ISO9001が製品やサービスの品質に焦点をあてているのに対して、ISO14001は、環境保全に焦点をあてており、法令などの順守を重視するのが特徴です。

環境への意識が高まる中、取得組織も増え、日本での取得件数は世界第一位となっています(2005年、2006年実績)。 取得により環境に配慮した組織ということで企業イメージアップにもつながります。また、CSRの観点から取得組織を対象に融 資金利の優遇制度を導入している金融機関もあります。

〇HSAS18001 労働安全衛生マネジメントシステム

1999年に制定され、2007年に改訂された労働安全衛生管理に関する国際規格。組織が従業員の業務上の労働安全と健康を管理・改善するための仕組みのことです。ISO14001との親和性もあり、品質・環境マネジメントシステムと併せて導入される組織も多数あります。最近は、OHSAS認証取得を経営審査の加点評価対象にしている自治体も増えてきており、導入組織も増えています。

食品安全に関する初のマネジメントシステム規格として2005年に制定された国際規格。食品の衛生管理手法であるHACCPにISO9001の概念を取り入れたものになります。食の安全性への関心が高まる中、定められた規格であり、食の安全をトータルに確保することを目的としています。また、フードチェーン全体に適用することが特徴で、導入により組織的な安全管理を効果的に行うことが可能となるばかりでなく、対外的にも高い信頼性をアピールすることができます。安全・安心体制の確立を目的に取得される組織が増えています。

2005年にBS7799をベースに制定された情報セキュリティ管理に関する国際規格。情報化社会である現代では、組織が持つ情報は重要な資産である一方、災害による喪失、システムクラッシュ、不正アクセスによる改ざん・流出・漏洩等の脅威に常にさらされています。このようなリスクから情報資産を守り、適切な管理の下、情報の機密性、完全性、可用性を継続的に確保維持する仕組みを確立することが目的です。取得により、情報管理システムの確保、社内での意識改革、対外的な信頼性向上にもつながります。尚、ISO27001と並んで挙げられるプライバシーマークは、個人情報を対象に会社全体で認証取得するものであるのに対し、ISO27001は情報資産全般を対象にしたものであり、全ての業種・業務分野ごとに取得することができます。

ISO/TS16949 自動車産業向け品質マネジメントシステム

1999年に制定された自動車産業向けセクター規格。1994年に制定された米国自動車産業ビッグ3のQS9000や、欧州の主要自動車工業会が独自に開発した規格を、国際規格として一本化するニーズの高まりを受け、主な国の自動車工業会や自動車メーカーが参加してISO/TS16949が制定されました。その後、ISO9001:2000との整合性をはかるため改訂され、現在のISO/TS16949:2002が発行されました。

2006年にQS9000が廃止されてからは、名実ともにグローバルな自動車産業向けセクター規格として認知されています。

JGAP/GLOBAL GAP 適正傳業規範

GAPとは Good Agricultural Practice の頭文字で、農業生産工程の管理手法の基準。欧州小売業組合の定めた最初の国際基準がGLOBAL GAP(IHEUREP GAP)で、その日本版にあたるのがJGAPです。JGAPは、「農産物の安全」「環境への配慮」「生産者の安全と福祉」「農場経営と販売管理」の4つのテーマを実現するために農産物生産の各段階で押さえるべき農場管理のポイントをまとめたもので、生産側と消費側が信頼関係を作るための新しい枠組みとして機能しています。尚、JGAPは、欧州の農場管理基準GLOBAL GAPとの同等性が認められています。

MSC 認証 海洋/漁業認証

持続可能で適切に管理され、環境に配慮した漁業であることを認証する制度。認証を行っているのはMSC (海洋管理協議会)で、乱獲による世界の海洋資源の枯渇を防止し、水産資源の持続的利用を促進することを目的にWWF (世界自然保護基金)と大手食品関連会社によって設立されたNPOです。MSC認証は、漁業部門における環境パフォーマンスに対する改善を実証するための理想的な手段の一つであり、認証により、漁業資源全体の持続可能な利用を確保し、また個別の船舶や組織の漁業活動を認証することにより環境上適切な活動を保証することが目的です。認証された水産物にはMSCの認証マークが与えられ、消費者はその商品が海洋環境に配慮した商品であることが分かります。認証によって、消費者の水産資源問題への関心も高まり、消費者はその商品を購入することで将来の海洋資源確保に貢献することにもなります。

JISマーク表示制度

JIS(日本工業規格)に適合する様々な製品に「JISマーク」を表示することができる制度。上述のシステム認証とは異なる製品認証となります。JISマークは現在、様々な鉱工業製品に表示されており、国に登録された認証機関(登録認証機関)が製造工場の品質管理体制を審査して、製品を検証し、JISマークの表示を認めます。JISマークの表示により、その製品がJIS規格に適合しているかどうかが第三者に明確に表示できることになります。MICは、[JIS A5308レディーミクストコンクリート]の認証機関に登録されており、製品認証審査を開始しています。



世界のISO認証件数調査が発表

ISO中央事務局は昨年11月、世界のISOマネジメントシステムの認証件数について集計・調査した"The ISO Survey 2007"を公表しました。この調査はISO中央事務局が1993年から実施しているもので、今回の調査は、2007年末時点でのISO9001:2000(品質)、ISO14001:2004(環境)、ISO/TS16949:2002(自動車産業)、ISO13485:2003(医療産業)、ISO27001:2005(情報セキュリティ)の認証件数について集計されたものです。

調査によると、ISO9001:2000の認証総件数は951,486件(前

年比6%増)で、前回の2006年実績と同様、中国、イタリアに次いで日本は第3位(73,176件)となっています。ISO14001:2004は総認証件数154,572件(同21%増)で、日本は、中国に次いで第2位です。前回より調査に加わったISO27001:2005は、認証総数7,732件(同33%増)。前回に続き第2位のイギリス(519件)を大幅に上回る4,896件で日本が第1位となっています。この調査の詳細については、ISOのホームページでご覧頂けます。(http://www.iso.org/iso/survey2007.pdf)



世界初のMSCカツオ漁業認証開始

昨年10月にカツオ漁業としては世界で初めて土佐鰹水産株式会社様のカツオー本釣り漁業グループでMSC漁業認証本審査が開始されました。MSC認証は、海のエコラベルとして知られ、海洋環境の保全を図りながら、持続可能な漁業資源の利用を実践していると認められた漁業に与えられるものです。

今回カツオ漁業によるMSC認証は、日本漁業での本審査としては 2例目となります。国内第1号は、京都府舞鶴市の京都府底曳網漁 業連合会のズワイガニとアカガレイ漁で昨年9月に取得したばかり。現 在欧米を中心に世界39カ国で、1,800品目(日本国内100品目以上)以上のMSCラベル付き商品が流通しており、消費者が一目で環境に配慮した製品がわかる仕組みとして今後の発展が期待されています。今回の土佐鰹水産株式会社様の取組みは、日本人に馴染みの深い魚であることから、MSC認証の認知度がさらに広がる契機になり、また消費者にとってより身近な魚で「環境に配慮した魚」の選択幅が広がることが期待されています。詳細はMSCのホームページをご参照〈ださい。(http://msc-jp.matinee.co.uk)



MICフランス RATP (パツ交通公団)) と成約

MICフランスは、RATPとの今後4年間のISOマネジメントシステム審査契約を落札しました。RATPとは、パリ交通公団と訳され、フランスの首都パリとその周辺部の公共交通機関の運営を行っている組織です。1899年に創設、1949年にパリメトロを運営していたパリ都市鉄道会社と路線バスを運営していたパリ地域公共交通公社を統合して、1949年にRATPが発足しました。1日10万人が利用しているRATPは、現在パリ周辺地域で、バス351路線、地下鉄16路線、郊

外鉄道2線、トラム(路面電車)3線を運営し、44,000人近くの職員が働く、世界で6番目に大きい都市交通事業者です。RATPでは、地下鉄、バス、トラム路線などに加え、その他の業務部門(人事、購買、技術部門等)もISO9001及びISO14001の認証を取得する予定で、現在その準備を進められています。

今回のフランス大手の公共交通機関の審査をきっかけに、さらに今後も様々な分野へのサービスを展開していきたいと思っております。







Q

当社は建設業でISO9001を取得しています。来年からリサイクル業務も開始することになりました。人数は変わらないのですが、このような場合何か手続きは必要なのでしょうか?それとも自動的にリサイクル業でもISO9001を取得していることになるのでしょうか?

また、リサイクル業務ではISO14001の取得を考えております。リサイクル業務だけを別のISO規格で認証登録することは可能なのでしょうか?

Answer

4

最初のご質問ですが、現在登録されている認証範囲が建設業であれば、業種が異なりますので、自動的に認証範囲が追加されることはありません。認証範囲は業種によって細かく区分され登録されます。今回のケースでは、別の業種となるためその業務を追加するための『拡張審査』を受けて頂くことが必要です。拡張審査は、拡張される適用範囲によっても異なりますが、定期の維持審査や更新審査と同時に実施する場合が多いです。内容によっては審査工数の追加が必要になり料金が変更になる場合もありますので、MICへお問合せください。認証範囲を

変更される場合、事業所を追加[拡張審査]、削除[縮小審査]される場合も同様にお手続きが必要となります。 尚、拡張される場合にはその運用実績が必要です。

また、同じ会社で業種ごとに別規格を取得することも可能です。実際にMICのお客様で当初は建設部門でISO9001を取得され、その後リサイケル部門でISO14001を追加取得されるなど、異なる認証範囲で別規格を取得されるケースもございます。追加認証をご検討の場合は、MICまでご相談ください。

富山市上下水道局流杉浄水場 様

(ISO14001:2004 認証登録)

MIC審查員 美濃 英雄 Hideo Mino



流杉浄水場様は、環境に配慮した事業運営をより確実に、また継続的に実施していくことを目的に、平成13年、ISO14001の認証を取得されました。

同浄水場は旧富山市の大部分の水道水と14社の企業へ工業用水を供給されています。この水源流域は、立山連峰や有峰湖(北陸電力管理)等を取り巻く常願寺川水系にあり、いずれも大自然に抱かれ、人為的な汚染が無く、豊富で良質な水に恵まれた環境にあることは言うまでもありません。浄水場の上流側には北陸電力の発電所が数ヶ所あるのみで、原水は土砂等の鉱物質以外の有害物質を含まないきれいな自然水であるといわれています。このことから、同浄水場では、凝集沈殿及び急速ろ過の一般的な浄水処理だけで水質基準に十分適合した、質の高い"おいしい水"を安定供給することができます。

同浄水場ではISO14001の効果として

- ·省エネ、省資源、リサイクル等が推進され、環境問題解決 に寄与
- ・マニュアル化による危機管理体制の整備、責任範囲の明確化、職員の環境問題に対する認識度の高揚
- ・省エネ、省資源、マニュアル化 による、水道事業の効率化



水源の水質監視 (有峰湖採水)

などをあげられています。

水は、限りある貴重な資源であり、水資源の環境保全など 地球環境問題の取り組みは、水道事業等の推進を図る上 で非常に重要な配慮事項です。環境方針では、啓蒙活動と 積極的な広報活動の展開を第一に挙げられています。

同浄水場では、今後もこの恵まれた自然環境を守り、市民 や事業者の皆様に安心して飲んで頂ける水道水を供給し ていくために、より一層環境保全に配慮した環境管理に取り 組まれていかれるものと思います。

http://www.city.toyama.toyama.jp/suido/kyotu/04-030.html

連載読み物

第9回

「終了ミーティング前の審査チームの打ち合わせ」

MIC Loyalty部 部長 成毛 秀雄 Hideo Naruke

審査のヒアリング終了後、審査員チームで終了した審査について打ち合わせを行います。この打ち合せは、短い時間の中で行いますが、リーダーとメンバーに十分な面識があり、その力量、専門性の度合い、性格等をお互いがよく認識している場合、打ち合わせはスムーズに進みます。しかし、必ずしもそうとばかりは限りません。

このようなミーティングでは、まさにチームリーダーの管理能力が問われます。リーダーもメンバーも両方審査員なのだからそんなに関係ないのでは、と思われるかもしれません。しかし、実際には、リーダーの資質によりこの打合せの内容はずいぶんと違ってきます。

審査メンバーはリーダーの指揮に従い、事前の打合せで割り当てられた領域の審査を行いますが、チームリーダーは、それに加え、審査全体をリードし、管理する役割も担っています。チームリーダーには、まず「審査をまとめよう」とする意識がなくてはなりません。それに対し審査メンバーは、「この状態で、前回の審査で何も指摘していないのはどうなのでしょうか?」など、強気の姿勢に回ることがあります。チームでよく話し合い、指摘事項を分類し、まとめるのは

チームリーダーの役目です。

時にはリーダーが、メンバーの指摘に対して「お客様が納得しないのでは?」と思ってしまう場合もあります。審査員はそのようなことが無いように、審査では客観的証拠を求め、それによって裏付けるのです。主観的な判断では不適合を提示することはできません。指摘事項がある場合、客観的にお客様へ説明をしなければなりません。それができていなければ、終了ミーティングで、お客様より「その指摘は間違っています」などの異議が唱えられたりする原因にもなり、内容への理解・納得をして頂けないことになります。

チームの意見が合わない場合には、最終的な決定はリーダーが行います。時間に余裕がない場合が多く、特にチームリーダーにとってはミーティング前の打ち合わせは、真剣勝負の場になりますが、そこで十分な話し合いを持つことで、終了ミーティングが円滑に進み、また

最終報告書にチーム全体によって 発見されたことがらが反映される ことになります。



MICリレーエッセイ ②

審査員からのエッセイをお楽しみください。



From 神奈川県横須賀市 小宮 幸夫 (こみや ゆきお)



PROFILE

専門分野 ISO9001 · ISO14001 - 建設、設計 · 開発、プロ

ジェクトマネジメント

経歴 日揮株式会社、株式会社CSリンク、MIC審査

員(現職)

MIC環境審査員顧問

「『近代国家の夜明け』発祥の地と国際規格」

私の住む横須賀は、150年程前に開国に向けて「憂国の士」達が、徳川幕政と闘いのさなか、ペリーが浦賀へ上陸し「日米修好通商条約」へと歩を進めた歴史的に重要な舞台となったところでもあります。

当時、この舞台裏では、勘定奉行である小栗(忠順)上野介が幕府側でありながら、日本が諸外国に負けない工業力と軍事力(造船機械技術)を強化・習得するため、フランス海軍技師の指導

の下で横須賀造船所(旧住友重工浦賀造船所の前身)に先立つ横浜製鉄所の建設に着手されました。表題に違和感をお持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、この壮大な背景を紐解いていくと、そこにはまさにISO規格と多くの接点を見つけることができます。すなわち、プロジェクト遂行段階の要所々でプロセスアプローチがPDCAと相まって展開され、既にこの時代に「規格」の意図する汎用性の高さが実

証されていたということです。

余談ながら推進役の上野介は、第1 号ドックの完成直後に理不尽な非業の 死を遂げましたが、志半ばにして夭折 した彼の心中には「持続可能な日本国」 の姿を予見していたのでしょうか?

この執筆は昨年秋ですが、世はまさにNHK大河ドラマの"篤姫"の時代と符合し、鎖国から開国に向けた激動黎明期のエッセイをご披露しました。

連載「環境とISO14001」②

第21回「資源問題(2)」

今回は「資源問題その(2)」として鉱物資源 (金属資源)について述べます。

昨今、自動車や電気・電子製品はますます高機能化してきていますが、それは白金や金、銅、パラジウムなどの希少金属の使用に負うところが大きいように思われます。例えば、自動車排ガスの浄化や燃料電池には金や銀、ゲルマニウム、テレビ・パソコンの高パネルにはインジウム、スズ、医療機器や自動車には欠かせない小型モーターには次かせない小型モーターにもなオジム、ジスプロジウム、サマリウム、電池とはリチウム、ニッケルが使用されています。また、どこのオフィスにもあるコピー機に使われる材料は鉄、銅、アルミニウム、鉛、スズ、リチウム、クロム、コバルト、ニッケル、モリブデン、アンチモン、バリウム等です。

これらの使用量は膨大であり、枯渇の心配が当然出てきます。枯渇は埋蔵量と消費量のバランスで決まりますので、まずは現有埋蔵量を年間消費量で除すことによって当面の可採年数を算出することができます。これによると2000年のデータで、以下の通りになります。

金-18年、銀-17年、銅-28年、亜鉛-25年、鉛-21年、スズ-37年、アンチモン-15年、インジウム-11年、鉄-121年、アルミニウム-185年

このデータで示されるように相当厳しい状況にあり、一部の金属資源は価格も高騰し、資源国の輸出制限もあって入手しにくい状況になっており、既に枯渇のフェーズに入っていると言えます。

価格が高騰すると、これまで経済的に成り立たなかった鉱床からも採掘されるようになるのでこれらの潜在埋蔵量(「埋蔵量ベース」と称し、概ね現有埋蔵量の1.2~3倍程度)を考慮する必要があります。また、需要も毎年変化しますので改めて2050年までの需給を推定すると以下のようになります。

2050年に現有埋蔵量をほぼ使いきるもの 鉄、モリブデン、タングステン、コバルト、 白金、パラジウム

2050年までに現有埋蔵量の2倍以上の使用量となるもの

ニッケル、マンガン、リチウム、インジウム、 ガリウム

2050年までに潜在埋蔵量(埋蔵量ベース) を超えるもの

銅、鉛、亜鉛、金、銀、スズ

このまま需要に応じて地下資源を開発することは2050年までに主要金属資源を枯渇させてしまうことになります。更に、金属鉱床の開発には多量の廃棄物、時には有毒物

の排出を伴います。例えば銅の場合、1トンの銅を得る為の廃鉱・スラブは360トンであり、 金の場合は実に110万トンに達するとのこと

Nobuaki Goko

郷古 宣昭

です。 金属資源の採掘は環境破壊の面から も制限を受けることになります。

それでは、これらに対してどのように対処すべきでしょうか。次の4つの英単語の頭文字から示される4Rが提唱されています。

Reduction (減量化) 資源効率を上げる

Replace(代替)

他の物質に代替する Recycle(循環使用)

使用済み機器等から回収し、リサイクル する

Restriction (制限)

環境負荷の大きい物質の使用を制限する

環境面から注目されている燃料電池や排ガスの浄化技術も希少金属消費の面から一層の効率化を図る必要があります。また、省エネルギー同様、省資源にも心がけていかねばなりません。

次回は資源問題その(3)として水資源についてお話しします。

お客さまからのお便り



伝統を守りながら時代のニーズに 応えた商品創り

株式会社旭製菓 (ISO9001:2000 認証登録) 代表取締役社長 守下 武彦

株式会社旭製菓は、東京都西東京市に本社が在る80 有余年の老舗のかりんとうメーカーです。

創業以来数々の名品、逸品を生んでまいりました。昔ながらの味を大切にした古典的な懐かしい商品から、時代の多様化に応えた、新しい味の製品創りと、お客様の

ニーズに合う商品を送り出しています。素材にこだわり古来の伝統的製法を守りつづけております。 弊社独自のこだわりと共に、現在のニーズに合う 味付けの商品造りが、顧客満足を維持し高めてい くものと確信しております。現在、数十種類のかり んとうを創り出しております。

食品の安全性について問われ、企業のモラルの低下を問題視されている昨今、2008年5月ISO9001

取得に際し、「食品の安全確保」「品質管理の徹底」「クレームゼロ」「企業に適用される法令・規制を遵守する」を掲げ、従業員一同更なる創意と工夫に邁進しております。

皆様に喜ばれる美味しいかりんとうを作り続ける所存ですので、ご愛顧の程宜しくお願いいたします。





花園工場全景

花園直営売店

救療の志を広く貫通する

株式会社廣貫堂 (ISO9001:2000認証登録) グループ統括業務本部 執行役員 本部長 並川 雄二

明治9年に創業の株式会社廣貫堂(こうかんどう)は、置き薬で有名な富山に本社を構え、家庭配置薬、OTC医薬品などの開発製造を行っています。置き薬の歴史は古く、江戸時代に遡ります。富山藩2代目藩主前田正甫公が、江戸城での会議の折、腹痛に苦しんでいる岩代三春藩主(福島県)に、持っていた自藩の「反魂丹」を与えたところ、即座に回復、それを見た他の藩主たちがその薬効に驚き、自国の領内でも販売してくれるよう求め、全国へ薬の配置員を派遣したことがきっかけだといわれています。

「先用後利(病を治すのが先で利は後でよい)」という独自のスタイルと「反魂丹役所(配置薬の製造販売業者を指導管理した役所)」の設置が全国への振興のきっかけとなり、その後反魂丹役所が廃止された後にこれを引き継いで創設されたのが弊社「廣貫堂」の始まりです。以来130余年、和漢薬を中心に製造、全国に配置するとともに、製剤原料の精選に努め、研究所や製造工場の設備近代化を図ってきました。また、共立薬学校の設立(現在の富山医科薬科大学の前身)など、配置薬業の人材養成にも力を注ぎ、高品質な薬を優秀な配置員によって、全国のお得意様にお届けしています。

配置薬業界のトップメーカーとして、伝統を守りながら 変化する市場に対応する統制力を高める目的で、 ISO9001の導入を決め、平成18年に取得いたしました。 導入後、経営目標・方針に基づいた各階層での目標展 開が明確になり、社内意識もさらに高まりました。

現在、国内はもとより、海外数カ国にもマーケットを保有。本社工場は、GMP(医薬品の製造と品質管理に関する基準)適合の生産体制を活かし、近代科学と調和させた和漢薬の開発や、さらに医療用医薬品にも幅広く対応するなど、その領域をさらに拡げています。今後とも社名に込められた「救療の志を広く貫通する」という姿勢を崩すことなく、伝統を受け継ぎ、尚且つこれに安住せず、さらなる研鑽を重ねてまいります。



今年の干支は、己丑(つちのとうし、きちゅう)。『己』は、十干の6番目で万物を育む土を意味し、『丑』は「紐」(右側が丑になっています)、「つなぐ」の意味があるそうです。

今年は、イタリアの科学者、ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いて人類の夢をつないだ1609年から400年にあたるということで、IAU(国際天文学連合)、UNESCO(国際連合教育科学文化機関)、UN(国連)の決議により「世界天文年」と定められ、世界中で様々なイベントや活動が展開される予定だそうです。今から見ればおもちゃのような望遠鏡でガリレオが驚きに満ちた世界に触れてから科学は目覚しい進歩を遂げ、月にも行ける時代になりました。イギリスのヴァージン・ギャラクティック社(メディア、航空事業で有名なイギリスのヴァージングループの1社)では、今年度の宇宙への観光旅行実現に向けて準備中とのことで、宇宙飛行士だけでなく、民間人も宇宙とつながる日は夢でなくなりつつあります。

「世界中の人々が夜空を見上げ、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうこと。が世界天文年の目的だそうです。7月には、46年ぶりに日本で皆既日食が観測できるとのこと。都会では特に、空や夜空を見上げる機会が少なくなっていますので、空を見るいい機会になりそうです。「丑」という字は2つのものが合わさる境という意味もあり、1つのことが完了し、新しいことが始まる転機を象徴しているそうです。大空を見上げ、気持ちも新たに新年のスタートです!本年もどうぞよろしくお願い致します。

研修コースの三案内

内部監査員研修コース

マネジメントシステムの維持・改善のために必須の内部監査。その知識とスキルを身に付けます。これから導入を予定されている企業や、既に導入され更に効果的な運用を目指される組織の皆様方にもお薦めです。

● 内部監査員コース

9001 · 14001 · 18001 (2日間)

【開催地】 東京·大阪

[対象者] 品質/環境/労働安全衛生マネジメントシステムの

導入を予定/検討している システムをより効果的に運用したい 効果的な内部監査を行いたい

審査員研修コース

審査員への最初のステップです。 合格すると、審査員補になる資格が得られます。 内部監査リーダーの方にもお薦めです。

○ ISO9001 :IRCA認定審査員研修コース (5日間)

○ ISO14001:IRCA認定審査員研修コース (5日間)

【開催地】東京

【対象者】 審査員の目で内部監査を行いたい

内部監査グループのリーダーに任命された

将来審査員を目指している

~ 受講生からのお便り ~

ISO9001内部監査員コースを受講して

品質内部監査員コース(2008年9月)受講 摂津電気工事株式会社 常務取締役 髙津 美智子

私が、ISO9001の管理責任者に任命されたのは一昨年の10月でした。前管理責任者の多忙により、総務が中心となってISOを任せられました。

電気工事という業種ではありますが、普段は総務の仕事柄、なかなか工事部の内容を把握するのが難しく、頭を抱えておりましたところ、ちょうど内部監査員の研修コースが目にとまり、とにかく自分自身がISOの知識をより多く身につけ、一層効果的に運用出来るようにと、参加させて頂いた次第でございます。

研修のグループワークでは、他業種の方の色々な考え方を聞くことができましたし、偶然にも同業者の工事部の方がいて、その方にお話を伺う事もでき、私にとってはまさに一石二鳥となりました。

研修終了後は、読みきれない本を何冊も読んだような気持ちでいっぱいでした。

これからも、より多くの様々な業種の、様々な組織の方々がこういった研修を活用される事を望むとともに、会社の発展の為にさらに知識を深め、邁進したいと思う所存です。 有難うございました。

ムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社 http://www.moodygroup.co.jp

東京本社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋Nビル4F

TEL: (03) 3669-7408 FAX: (03) 3669-7410 E-mail: mi-certification@moodygroup.co.jp



大阪事務所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル13F

TEL: (06)6150-0571 FAX: (06)6150-0575 E-mail: mic-osaka@moodygroup.co.jp